

目次

第1部 分野別演習

	学習内容	ページ	年間予定	学習日	復習日	理解度(○△×)
第1章 読解	1 説明的文章(1)	4~7		/	/	○ △ ×
	2 説明的文章(2)	8~11		/	/	○ △ ×
	3 説明的文章(3)	12~15		/	/	○ △ ×
	4 説明的文章(4)	16~19		/	/	○ △ ×
	5 文学的文章(1)	20~23		/	/	○ △ ×
	6 文学的文章(2)	24~27		/	/	○ △ ×
	7 文学的文章(3)	28~31		/	/	○ △ ×
	8 文学的文章(4)	32~35		/	/	○ △ ×
	9 韻文(1)	36~39		/	/	○ △ ×
	10 韻文(2)	40~43		/	/	○ △ ×
	11 韻文(3)	44~47		/	/	○ △ ×
	12 古典(1)	48~51		/	/	○ △ ×
	13 古典(2)	52~55		/	/	○ △ ×
	14 古典(3)	56~59		/	/	○ △ ×
第2章 知識	1 文法(1)	60~63		/	/	○ △ ×
	2 文法(2)	64~67		/	/	○ △ ×
	3 文法(3)	68~73		/	/	○ △ ×
	4 文法(4)	74~77		/	/	○ △ ×
	5 漢字・熟語	78~83		/	/	○ △ ×
	6 語句(1)	84~87		/	/	○ △ ×
	7 語句(2)	88~91		/	/	○ △ ×
第3章 作文	1 作文	92~95		/	/	○ △ ×
	2 思考・表現	96~99		/	/	○ △ ×

第2部 実戦問題演習

	学習内容	ページ	年間予定	学習日	復習日	理解度(○△×)
第1章 読解	1 説明的文章(1)	100~103		/	/	○ △ ×
	2 説明的文章(2)	104~107		/	/	○ △ ×
	3 文学的文章(1)	108~111		/	/	○ △ ×
	4 文学的文章(2)	112~115		/	/	○ △ ×
	5 韻文	116~119		/	/	○ △ ×
	6 古典	120~123		/	/	○ △ ×
第2章 知識	文法総合問題	124~127		/	/	○ △ ×
	付録 用言・助動詞の活用表	128		/	/	

1

実戦問題演習

説明的文章(1)

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(秋田県・改)

〈林知己夫「数字からみた日本人のこころ」より〉

(注) 葛藤¹ 心の中であれこれ悩むこと。

膏藥² あぶらで練った薬。

□(1) — 線① a～dの漢字は読み方をひらがなで、カタカナは漢字に直して楷書^かで書きなさい。

c	a
d	b

□(2) — 線①「えてして」の意味として適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア あいにく イ もちろん
ウ さしあたり エ ともすると

□(3) — 線②「とおり」の本文中における意味に最も近い表現を次から選び、記号で答えなさい。

- ア 予想したとおりの結果になる。
- イ 芸名のほうがとおりがよい。
- ウ 証明のしかたは二とおりある。
- エ この道は車のとおりが多い。

□(4) 線③「それ」が指しているものを、本文中から書き抜いて答えなさい。

--

□(5) 段落Eは、段落C・Dに対してどのような関係になっていますか。その説明として適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 段落C・Dの内容をまとめ、改めて疑問を提示している。
- イ 段落C・Dの内容を受けて、論をさらに発展させている。
- ウ 段落C・Dの内容を確かめて、新たに仮説を立てている。
- エ 段落C・Dの内容を言い換え、具体的な例を挙げている。

□(6) 線⑥「もう少し」が直接係っていくことを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 文化の活力である
- イ 概念をもっている
- ウ 誇ってもいい
- エ ないだろうか

□(7) 線④「建て前は本音を洗練した形で表現したものとありますが、

建て前とは本音をどのように加工したものと筆者は説明していますか。本文中の語句を必ず用いて、「～もの。」という形で、四十五字以内(句読点も字数に数えます)で書いて答えなさい。

□(8) 線⑤「日本人自身が汚点のように考えて」とありますが、その理由として適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 建て前や本音にこだわらないことが日本人のよさだと思うから。
- イ 建て前は人間の知恵の産物であり本音よりも大事だと思うから。
- ウ 本音だけが価値のあるもので建て前は重要ではないと思うから。
- エ 本音だけを通して建て前に配慮しないのはよくないと思うから。

□(9) 本文で筆者が述べている考えに最も近いものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 本音と建て前の概念は、日本文化が発展するための力となっている。
- イ 本音と建て前の理論により、日本文化の複雑さは簡単に説明できる。
- ウ 本音を建て前よりも優先することが、日本文化の活力の根源である。
- エ 本音と建て前を区別できない点が、日本文化の最大の特徴といえる。

〈一口メモ〉

著者は著名な統計学者。本文は、さまざまな社会調査の結果から浮かび上がった日本人像について述べている、一種の日本人論である。この著者は、「日本人のころをはかる」(朝日新聞社)や「数字からみた日本人のころ」(徳間書店)、「日本らしさの構造」(東洋経済新報社)など、本文と同系統の一般書を書いているので、手にしてみるのもよいだろう。

--

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(三重県・改)



〈樋口清之「水と日本人」より〉

(注) 八重桜はサクラのうち、八重咲きの品種の総称。ボタンザクラともいう。

吉野山は奈良県にある山で、ソメイヨシノの吉野桜で有名。

□(1) 線ア～オの漢字は読み方をひらがなで、カタカナは漢字に直して答えなさい。

エ	ア
オ	イ
	ウ

□(2) 線①～④の中から品詞が他の三つと異なるものを一つ選び、記号で答えなさい。

□(3) 線①「興味深い話」とありますが、筆者はこの「話」の中の好みという観点から、日本と海外を対比して、どのようなことを導いていますか。本文中のことばを用いて、二十五字以内(句読点も字数に数えます)で書いて答えなさい。

□(4) 線②「こうした態度」とありますが、どのような態度ですか。本文中のことばを用いて、五十文字以内(句読点も字数に数えます)で書いて答えなさい。

□(5) * に入る最も適切なことばを次から選び、記号で答えなさい。

- ア しかし
- イ または
- ウ そこで
- エ ただし

□(6) 日本人の美的感覚について述べた次のそれぞれの文の中から、本文の趣旨に最も合致するものを選び、記号で答えなさい。

ア 八重桜は、日本人の繊細な美的感覚をあらわすものとして海外で有名であり、日本国内でもその愛好者が増加している。

イ 原色より淡い色を好むという日本人の美的感覚は、人間関係でも、はっきりしたことを嫌う傾向となつてあらわれている。

ウ 霞のたなびく春の風景に山桜は似合うが、日本人の美的感覚では、そういう風景のもつ淡い中間色の美しさが理解されにくい。

エ 日本文化は、はっきりしたものを嫌う美的感覚を育てたが、色彩面では淡い色よりも原色系のものを好む傾向にある。

□(7) —線③「はっきりしたもののいい方や自己主張を美しくないという考

え」とありますが、このことについてあなた自身はどう考えますか。次の

〔作文の注意〕にしたがって書きなさい。

〔作文の注意〕

- ① 題名は書かずに本文から書き出すこと。
- ② 体験したり見聞きしたりしたことなどを例としてあげ、自分自身の考え方を書くこと。
- ③ 必ずしも本文の趣旨にとられる必要はない。
- ④ 原稿用紙の正しい使い方にしたが、百二十文字以上百五十文字以内で書くこと。

〈口メモ〉

樋口清之は本来歴史学者(日本史)だが、「梅干しと日本刀」(光文社文庫・祥伝社ノンブックス所収)などの読み物で有名になった。異色の素材を切り口とした日本論、比較文化論は読んでいておもしろい。ここで挙げた「梅干しと日本刀」に限らず、「うめぼし博士の逆日本史」(祥伝社ノンブックス)、「食べる日本史」(朝日学芸文庫)なども同様で、これらの本を見ておくことで、社会の入試対策にもなるかも。また、他の著者の日本論や比較文化論なども読んでおくと、日本文化に対する視野が広がるだろう。日本人の書く日本論だけでなく、外国人が見た日本という観点から書かれた日本論を読み比べてみると、意外なことに気づくこともあるだろう。